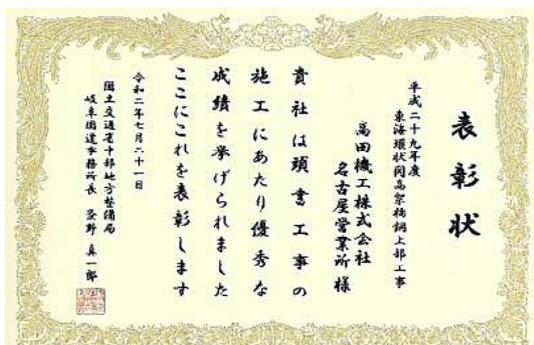


岐阜国道事務所長より「優良工事表彰」を頂きました



○工事諸元

発注者：国土交通省 中部地方整備局
 工事件名：平成29年度 東海環状関高架橋鋼上部工事
 工事場所：岐阜県関市広見
 橋梁形式：鋼4径間連続少数桁橋（床版：合成床版）
 橋長：206.0m（幅員：11.76m）
 総鋼重：560t
 架設工法：移動台車による縦送架設及びTCベント工法
 工期：平成29年8月5日～令和元年5月31日

○工事特徴

本工事は、東海環状自動車道の関広見IC南に位置する暫定2車線区間内回り部の橋梁架設工事ですが、橋梁が近接する関閉所に向かう2系統の高圧幹線（275kV）と2箇所で交差するため、架設時における高圧幹線との7mの離隔確保が安全な施工において最重要課題となりました。

当初の架設計画では、主桁は相吊による一括クレーン架設、横桁は巻上げ・旋回を人力施工、合成床版は横移動を人力施工であり、クレーン作業時の高圧幹線との接触リスク軽減や架設環境の改善の必要がありました。

そこで事前に安全性を考慮した架設工法を検討し、2箇所の高圧幹線直下の径間部は合成床版まで一体とした移動台車による縦送架設工法にすることで施工時の安全性の確保が可能であることを確認し、発注者との協議を経て架設工法を変更、その効果もあり無事故で完成させる事ができました。



全景(令和元年5月時点)



縦送り架設の状況

○現場技術者からのコメント（現場代理人 畑 康隆）

本工事は現場代理人として責任のある立場で関わった初めての現場であり、高圧送電線から「ジージー」と放電音が響く中で安全な架設の為、橋面上の施工まで細心の注意を払う必要がありましたが、無事故で竣工したことは大きな達成感がありました。

また、竣工前には「橋や道路など新しいインフラへの愛着や関心を持ってほしい」との趣旨で地元園児を招いた見学会を行い、改元の直後ということで「令和」の文字を囲んで風船飛ばしも行ったことも良い経験となりました。

最後になりますが、本工事に関わった全ての皆様に厚く御礼申し上げます。今後も現場条件を踏まえつつ安全第一に努めてまいります。



岐阜新聞(令和元年5月12日)